

平成 29 年 3 月 14 日
 大学図書館と国立情報学研究所との
 連携・協力推進会議
 SCOAP³タスクフォース

SCOAP³ フェーズ 2 に向けたタスクフォース活動状況（報告）

1. タスクフォースの活動状況

平成 28 年 6 月 24 日	第 1 回会合 ・今後の進め方について協議
平成 28 年 7 月 21 日	国公立大学図書館に対して「2017 年以降の SCOAP ³ プロジェクトへの参加について（依頼）」を送付し、フェーズ 2 に向けた状況を説明。
平成 28 年 9 月 21 日	国公立大学図書館に対して「2017 年以降の SCOAP ³ プロジェクトに係る参加意向調査について（依頼）」を送付し、フェーズ 2 への参加意向調査を実施（回答期限：平成 28 年 10 月 21 日）。
平成 28 年 10 月 31 日	第 2 回会合 ・参加意向調査回答状況の確認 ・今後の進め方について協議

2. 参加意向調査回答状況（1/31 現在）

（1）概要

各大学図書館のフェーズ 2 への参加意思の有無、参加する場合の拠出可能額を調査。

（2）回答状況

参加	38 機関（うち、フェーズ 1 からの継続参加 31 機関）
不参加	46 機関（うち、フェーズ 1 参加機関 3 機関）

参加の意向でも拠出額は検討中としている機関（1 機関）があり、拠出総額は未確定である。しかし、対象誌の購読実績を有する大部分の大規模大学図書館が参加の意向を示しており、大学図書館としては、最大限の努力を行っていると言える。

3. 今後の予定

CERN との MoU 締結。また、最終的な拠出額を確定。

4. その他

SCOAP³のエクゼクティブ・コミッティのメンバーである安達 NII 副所長と連携し、研究者の SCOAP³ への理解を深めることを目的としたイベントを企画、CERN で SCOAP³ の責任者である Dr. Salvatore Mele を招聘し、平成 28 年 12 月 7 日と 8 日に各々東京（NII）と京都（京都大学）で高エネルギー物理学分野の研究者を対象としたシンポジウム開催をサポートした。

「高エネルギー物理学分野における論文投稿の仕組みを考える－SCOAP³と日本の現状－」

講演者	内容
安達 淳教授 (SCOAP ³ 評議会日本代表委員、 国立情報学研究所 (NII) 副所長)	開会挨拶
安達 淳教授	日本における SCOAP ³ への取り組みの経緯と現状について
Dr. Salvatore Mele (Head of Open Access at CERN, Leader of the SCOAP ³ project)	SCOAP ³ プロジェクトの世界的な動向、 およびその中での日本の立ち位置について
小林 富雄教授（東京会場） (高エネルギー加速器研究機構 国際連携推進室 室長)	PTEP の成果について
野坂 京子氏（京都会場） (一般社団法人 日本物理学会 物理系学術誌刊行センター)	
(意見交換)	